

# 扇小 元気な作品集

令和6年度(50周年)

ていしつひ  
2024か  
8か  
26に

## このなぞ

### はじめに

ぼくは ままにいつも「こら」といわれます。こらこらとなんかいもいうのでおもしろくなてしまいました。ままに「こら」ってなあにときいたらままもわからなかつたので、しらべてみることにします。

### しらべてわかったこと

- 1 こらは、こればかりけん。
- 2 こら → こらとおんけんけんかしたことは。
- 3 いかり、ちゅういのよひかけ。
- 4 「こら」というよひかけことは、ぜんこくてきにつかわれている。
- 5 えとじだいかからかごしまけんのみとたちがほうげんてつかっていた。

### ぼくがきづいたこと

いま、ままがいうこらはおこるおこるときにしかつかわれない。けれど、かごしまけんのみとはおこるときではなく、やさしくよひかけるときにつかう。

### おわりに

ぼくは、いまのこらよりむかしこのころのほうがよかつた。すまにむかしのやさしいこらでいい。ほしいのでおわかれしました。

2023 net  
10月21日  
1355249?

<https://stern.jp/>  
©2023.9.10

著者	書名	出版社(発行所)	発行年	ISBN
よすいかねのり	日経経済大辞典	小学館	2012	R 912マ
藤原与一	日本語方言辞書	東京堂出版	平成24年	978-4-03-37

めいじじだりにつくられたり(さつらさつ)のメソバがごしまけんのみとがおおく(パトロール)のときこらとよひかけをしていたから、ひとをおこるときにつかうことはたし(みか)かやっていたとかんがえられる。

入間市立扇小学校

夏休みの作品。一年生が「こら」について、調べられました。よく言われる「こら」には、いろんな意味があるんですね。これはおもしろい！